令和6年度

事 業 実 績 報 告 書

令和6年4月1日から
令和7年3月31日まで

学校法人

茨　木　学　園

茨木みのり幼稚園

創立の趣旨

いわゆる私学の自由な立場に立ち、あたたかい雰囲気とまことの心を持って幼児を保育し、真理に目覚めた正々堂々たる人間として、共同社会における各自の立場で、必要欠くべからざる人に育てるべく、幼児教育を実践する。

教育の理念

・人と人とがかかわって、豊かな遊びが発展していく環境を作る。
・子供の主体性や感性、知性そして人間性を育む教育の実践。

教育の目標

ひとりひとりの個性を大切にしながら、明るく生き生きとした子どもの育成に努めます。
・基本的な生活習慣、態度を育て、健康で丈夫な身体をつくります。
・自分で考えて行動できる力を養います。
・人との関わりの中で社会性、協調性を養います。
・様々な体験を通して豊かな感性、創造性を育てます。

教育の方針

・子どもにとって良い環境を整え、明るく伸び伸びとした集団生活を営ませます。
・ひとりひとりの子どもの発達段階に応じた保育を行います。
・様々な人や物、出来事と出会い、興味や関心を大切にし、意欲や思いやりのある子どもを育てます。

令和6年度

事 業 実 績 報 告 書

令和6年4月1日から
令和7年3月31日まで

（Ⅰ）法 人 の 概 要

- 法 人 名　学校法人茨木学園
- 幼稚園名　茨木みのり幼稚園
- 郵便番号　567-0891
- 所 在 地　茨木市水尾3丁目1番41号
- 電話番号　072-632-2771
- FAX番号　072-634-6554
- E－mail　info@minori-y.ac.jp
- U R L　http://www.minori-y.ac.jp
- 理事長名　中　好 枝
- 園 長 名　椎野 正明

1. 幼稚園認可年月日　昭和28年 9月29日
2. 創立記念日(開園日)　昭和28年10月20日
3. 法人認可年月日　昭和47年 9月 1日
4. 所轄庁　大阪府知事
5. 役員数

選任区分	寄付行為の規定内容	定数	現員	任期
（理事）				
寄付行為第6条第1項第1号	茨木みのり幼稚園園長	1	1	－
第6条第1項第2号	評議員会選任理事	5	5	3
第6条第1項第3号	理事会選任学識経験者	1	1	
計		7	7	－
（監 事）	ー	2	2	3
（評議員）				
寄付行為第23条第1項第1号	法人の職員で理事会で推薦し評議員会選任	5	5	3
第23条第1項第2号	卒業生若しくは卒業生の保護者又は生徒の保護者で理事会選任	5	5	
第23条第1項第3号	理事会選任学識経験者	5	5	
計		15	15	－

6. 諸規定の整備状況

項　　目	規定の有無	規定の名称
教職員の就業に関する規定	有	「就業規則」
教職員の給与・退職金に関する規定	有	「給与・退職金規程」
教職員の育児・介護休業に関する規定	有	「育児休業規程」「介護休業規程」
会計に関する規定	有	「経理規程」「経理規程施行細則」
授業料の減免に関する規定	有	「授業料減免規程」
入学金の減免に関する規定	有	「入園金減免規程」
入園金の返還に関する規定	有	「入園金返還規程」
慶弔・旅費などに関する規定	有	「慶弔規程」「旅費規定」

7. 理事会の開催状況
令和6年5月18日、令和5年度事業報告書、監査報告並びに決算承認
令和7年2月22日、令和6年度収支予算承認、認定こども園移行について
令和7年3月22日、令和7年度事業計画・予算承認、経理規程改定について

8. 公認会計士の監査状況
監査実施年月日　令和6年4月24日、令和6年11月13日、令和7年4月1日
監査報告参考事項の有無・・・　なし

9. 基本財産等の管理状況

① 園　地

区分	自己所有(㎡)	借用(㎡)	計(㎡)	所有者	抵当権設定の有無
園舎敷地	1,561.66	―	1,561.66	学校法人 茨木学園	無
運 動 場	1,466.14	―	1,466.14		
(うち幼稚園)	(1,466.14)	―	(1,466.14)		
(うち保育所)	(0.00)	―	(0.00)		
その他	440.36	―	440.36		
合計	3,468.16	―	3,468.16		

② 園　舎

建築年度 構　造	棟番	自己所有(㎡)	棟番	借用(㎡)	棟番	計(㎡)	所有者	抵当権設定の有無
昭和43年 鉄筋コンクリート	A棟	877.22	A棟	―	A棟	877.22	学校法人 茨木学園	無
平成7年 鉄筋コンクリート	B棟	1,318.38	B棟	―	B棟	1,318.38		
平成18年 鉄骨	C棟	392.41	C棟	―	C棟	392.41		
平成7年 鉄骨	D棟	239.76	D棟	―	D棟	239.76		
合計	2,827.77		―		2,827.77			

(園舎の内訳)

(地階)

室　名	棟番	面　積 ㎡	室　名	棟番	面　積 ㎡
園長室	B棟	46.60	倉庫①	B棟	54.35
職員更衣室	B棟	15.85	廊下・その他①	B棟	40.08
受水槽ポンプ室	B棟	28.56			
湯沸室	B棟	2.85			
研修室	B棟	77.44			

(地階小計265.73㎡)

(1階)

室　名	棟番	面　積 ㎡	室　名	棟番	面　積 ㎡
保育室①	B棟	55.02	ユーティリティ	B棟	6.95
保育室②	B棟	64.46	廊下・その他②	B棟	121.50
保育室③	B棟	54.00	廊下・その他③-1	A棟	22.71
保育室④	A棟	54.38	廊下・その他③-2	A棟	22.71
保育室⑤	A棟	54.38	廊下・その他⑨	C棟	10.12
保育室⑥	A棟	54.38	ピロティー	C棟	126.44
保育室⑦	A棟	56.54	廊下・その他⑪	C棟	8.73
保育室⑮	D棟	58.31	廊下・その他⑭	C棟	40.56
保育室⑯	D棟	58.31	廊下・その他⑮	D棟	11.34
職員室	B棟	53.91	プレイコーナー①	A棟	29.19
保健室	B棟	4.74	プレイコーナー②	A棟	58.38
クリーンルーム	B棟	7.14	プレイコーナー③	A棟	29.78
事務室	B棟	23.05	倉庫⑤	C棟	14.70
多目的ホール①	B棟	50.10	倉庫⑭	D棟	1.96
湯沸室	B棟	8.18	倉庫⑦	D棟	4.05
調理室	D棟	71.78	倉庫⑧	D棟	2.70
便所①	B棟	21.44	倉庫⑨	D棟	5.40
便所②	A棟	22.36	倉庫⑩	D棟	5.40
便所③	A棟	22.36	倉庫⑪	D棟	4.14
便所④	B棟	3.20	倉庫⑫	D棟	3.10
便所⑩	D棟	4.86	倉庫⑬	D棟	5.65
便所⑪	D棟	2.76			

(1階小計　1,341.17㎡)

(2階)

室　名	棟番	面　積 ㎡	室　名	棟番	面　積 ㎡
保育室⑧	A棟	54.38	プレイコーナー④	A棟	29.19
保育室⑨	A棟	54.38	プレイコーナー⑤	A棟	45.14
保育室⑩	A棟	54.38	倉庫②	B棟	32.19
保育室⑪	A棟	56.54	便所⑤	B棟	9.68
保育室⑫	C棟	54.75	便所⑥	A棟	8.60
保育室⑬	C棟	54.75	便所⑦	A棟	8.60
保育室⑭音楽室	B棟	54.10	便所⑨	C棟	13.25
遊戯室	B棟	234.09	廊下・その他④	B棟	33.94
図書室	B棟	44.46	廊下・その他⑤	A棟	126.02
多目的ホール②	B棟	69.77	廊下・その他⑫	C棟	16.79
			廊下・その他⑬	C棟	7.18

(2階小計1,062.17㎡)

(3階)

室　名	棟番	面　積 ㎡	室　名	棟番	面　積 ㎡
ゲストルーム	B棟	75.85	廊下・その他⑥	B棟	18.61
倉庫③	B棟	6.28	廊下・その他⑦	B棟	40.76
倉庫④	B棟	8.60	廊下・その他⑧	B棟	4.30
便所⑧	A棟	4.30			

(3階小計158.70㎡)

合　計　　2，827．77㎡

10. 施設設備の整備状況

●保育棟の環境

① 保育室と廊下(前室)は、段差のないフロアーとなります。

② 全保育室に冷暖房設備、年少・年中組1階保育室には床暖房を備えています。

③ 子ども達が毎日使用するロッカーやおもちゃ棚等は、安全性が高く危険性の低い備品です。

④ プレイルームでは、パーテイションを開放すると、ひとつの広いホールスペースになります。

⑤ 2Fホール　遊戯室へ入る手前の2Fホールは、トップライトから光が差し込むようになっており、図書コーナーにつながっています。

⑥ 図書コーナー　保護者も一緒に入れる図書コーナースペースがあります。
貸し出しできる絵本も豊富にあります。
保護者用　200冊　　職員室用　400冊
絵　　本　1750冊　　◆図書貸し出し　年長組 週1回実施
※今年度、破損・消耗が著しい絵本を270冊処分すると共に新たに、50冊購入しています。

⑦ 遊戯室　遊戯室は、全園児がゆったりと集会できるフロアーがあり、舞台上での行事を実施します。
(※毎月の誕生日会　発表会　入園式・卒会式等)

⑧ 音楽室　2Fの音楽室には、下記の楽器を揃えています。
(キーボード、マリンバ、グロッケン、ヴィブラホーン、バスキーボード、コンガ、ボンゴ、スタンドシンバル、ハイハット、大太鼓、小太鼓、平太鼓、タムタム、バスマリンバ、ウィンドチャイム、ハンドベルなど)

⑩ ピロティ　雨天時や熱中症対策として、屋根付きの遊びの広場とし活用すると共に送迎待機場としても使用しています。

⑪ トイレ　乾式の明るく衛生的な子ども用洋式トイレ(暖房便座)を完備し、男児用は自動センサーで水が流れます。3歳児用のトイレは、教諭の目が行き届くように扉をはずしています。
1Fトイレには2歳児用トイレ、乳幼児おむつ用ベッド及び乳幼児いすを設置しています。

●園庭の環境

① 園庭は必要に応じて土の入れかえを行い、いつでも裸足で遊べるように整備しています。

② 園庭の東にある築山には人工芝を張り、斜面を利用した遊び場や、四季を感じたり小鳥たちの集まる樹木を植栽しています。

③ 築山の片面には石積みがあり、池ではカメを飼育しています。

④ 園庭の周りには花壇を多くとり、四季の草花を楽しんでいます。
⑤ アスレチック遊具　KOMPAN遊具を数種類組合わせたアスレチック総合遊具を設置しています。
（滑り台・展望台・回旋塔・登攀ネット・登坂壁）
難しいことに挑戦することがコンセプトのジャクエツ鉄製総合遊具Withを設置しています。
（ウォールスライダー・クライム・ウォール・クロス）
⑥ 砂場　藤棚に囲まれた砂場は、夏も涼しくどろんこ遊びも存分に楽しめる広さがあります。
2・3歳児専用の砂場を別に設置しています。
持続性のある消毒を行い、安全に砂遊びができます。
必要に応じて砂場の土の入れ替えも行っています。
⑦ ログハウス　角ログを使ったログハウスがあります。
⑧ 屋外ステージ　角材を使った半円形の屋外ステージがあります。
⑨ 農園　園庭の隅にあり、いちごや野菜(玉ねぎ、ミニトマト、スナップエンドウ、きゅうり、なすび、ピーマン、オクラなど）の収獲も経験します。
⑩ プール　屋外プールを屋上に設置しています。
⑪ 動物小屋にはアヒルがいます。園舎1階の廊下にウサギがいます。
（その他、各クラスでカブトムシやメダカ等を飼っています。）

●その他の環境
① 空調設備等　全保育室に冷暖房設備、空気清浄機を設置。年少・年中組1階保育室には床暖房も設備。
遊戯室・音楽室、研修室なども冷暖房設備。保育室3か所換気システム導入
② バリアフリー　1F・2F共に車いすにて移動ができます。
2Fまで、エレベーターでの移動が可能です。身障児(者)用トイレがあります。
③ エレベーター　エレベーターを設置しています。給食の搬送にも利用できます。

④ 研修施設等　地下1階には園内研修の勉強会のための教員研修室があり、3階のゲストルームはP.T.Aの活動に利用しています。
⑤ 給食設備　食育の重要性を認識し、ふれあいホールの一角に自園調理に必要な調理機器 および配膳用機器を整え、自園給食を実施しています。
⑥電気設備　園内全てLED電球を使用しています。

11. 収容定員・実員
（令和6年5月1日現在）

	3才児	4才児	5才児	合計
定　員	120	140	140	400
実　員	49	58	83	190
園則に定める学級数	5	4	4	13
実学級数	2	2	3	7
学級名	ぞう組24名 くま組25名	きく組29名 もも組29名	あやめ組28名 かんな組27名 つばき組27名	

12. 教職員組織
（令和5年5月1日現在）

	幼稚園教諭免許状の種類	担任・職務区分
専任園長	2種1名	－
専任教諭	専修0名 1種5名 2種5名	3才児担任　2名・4才児担任　2名・5才児担任　3名・フリー教諭2名
兼任教諭	1種1名 2種3名	フリー教諭3名 預り保育担任1名
事務職員	2種1名 －	兼任1名(会計・庶務) 兼任1名(事務・渉外)・兼任1名(園務・事務)・兼任2名（園務）

13. 教員の平均年齢　38.6歳

14. 園医等の状況
園　　医　1名
園歯科医　1名
園薬剤師　1名

（Ⅱ）事 業 の 概 要

⑴ 本年度の概要

①　幼児教育を巡る環境は、大きく変動が予想されます。国（こども家庭庁）の動向も注視しながらも、本園の地域・保護者のニーズに応じた私立幼稚園としての役割を見出し創造していきたいと考えています。
3歳児定員の拡充、子育て・家庭支援の取組みを強化すると共に、子どもの健やかな成長、発達を保障する為、今後も、教育・保育の内容、教職員や施設設備等保育環境の充実を図り、今日まで以上に地域に根差した本園独自の教育方針を確立し、より一層努力を重ねています。

本年度の園児数は別記の通り令和6年5月１日現在190名（前年度230名）
入退園を差引した年間平均園児数は3歳児2学級53名（前年度60名）・4歳児2学級58名（前年度83名）・5歳児3学級84名（前年度87名）合計190名で運営で運営しています。

②　園児納付金については、物価高騰や水光熱費の高騰等が著しく運営面に於いて、大変厳しい影響を受けていますが、本年度は納付金の徴収を据え置きとしています。しかし、本格的な少子化を迎え、新入園児の獲得がより厳しく、更に収入が減少する見込みです。そこで、令和8年度より、新制度の認定こども園への移行・改定を図ることにより、良好な教育環境を整えられると考えます。園児納付金については、経済状況の変化と共に減免も視野に進めると共に、平等に教育・保育が受けられる様に配慮しています。

③ 子育て支援の役割を担う育児相談や預かり保育・プレイルームの実施に伴い、育児体験・社会経験豊かな教職員を配置しています。また、障がい、多国籍など多様な子どもの保育、チーム保育の充実の為、非常勤教諭フリー教員を配置し、個別に向き合い安心して生活が送れるように努めています。
教員の資質向上については、園の研修体制や研修内容の質の向上・充実を図ると共に大阪府や私立幼稚園連盟など主催の外部の研修会やwebの研修などに数多く参加すると共に、研修参加者は、研修報告会を必ず実施し学びを共有しています。
本園の教育方針や指導計画、教員の保育実践における[振り返りの専門性]を確立するために自己点検自己評価に実施しています。学校評価の結果はホームページなどで公表しています。

④ 保育内容の充実に当っては、遊べる子どもに育つことによって、社会性や自主的態度を養い、遊びから学習することを知ります。また、表現活動を通して、造形・音楽・劇的活動、を通して感性を磨き、園庭では動植物に触れ、四季折々を感じると共に子どもの心を育てるよう取り組んでいます。
体力づくりでは、運動機能の成長を促します。「体育指導」では基礎体力が身に着くように各学年に応じた指導計画を作成し、躰全体を使っての運動やゲームを通してバランス感覚を養いながら運動機能を高めます。
「音楽指導」では幼児期の聞く力を養い、歌うことや楽器を使うことの楽しさを味わいながら、リズムパターンを奏でたり、メロディーの出る楽器が使用できるように取り組んでいます。
「英語レッスン」の時間を年間を通して設定しています。「絵画指導」では、いろいろな画材に触れ、絵本やお話を通して自分なりの表現が発揮できるように取り組んでいます。

ICT化を進め、保護者との連絡、登降園、出欠、預かり保育利用登録、料金の管理などを進めています。
また、7職員1人１台タブレットを導入し保育に活用できるよう取り組んでいます。
消防、地震、防犯訓練を計画的に年間9回実施しています。
「特別支援教育」については、個別支援計画を作成し、ひとり一人が、安心して生活が送れる様に努め、身体的・心理的に望ましい支援を行います。また、保護者とも細目に面談を行い連携強化に努めいています。

⑤ 「預かり保育」事業では、子育て支援の充実を図る一環として幼稚園としても、必須の役割となりました。
預かり保育の需要も高まり利用人数も増加する傾向です。「単に預かる」だけではなく保育内容も定め、保育の質も確保しています。また、今年度の長期休み（3学期春休み）より早朝時間からの預かり保育も実施しています。
「大阪スマイルチャイルド事業」に参画し、幼稚園開園11時間以上及び5時間以上の預かり保育時間数の実施、通常預かりは月曜日から金曜日の保育終了後の午後2時～5時とし、早朝預り午前7時30分～8時40分、延長預かり午後5時00～ 6時30分を実施しました。長期休業中の預かり保育を1日10時間・年間42日間実施しました。通常の預かり保育日数は189日、延べ3,764名が利用し、休日預かり（土曜日）実施していません。
長期休業中の預かり保育日数は45日間、延べ723名が利用しました。

子育て支援のため「親子で遊ぼう」（未就園児対象）毎月実施
「園庭開放」については毎月1回実施しています。
「キンダーカウンセラー」（臨床心理士）は年間12回実施しています。保護者の方と『茶話会』も実施しています。
未就園児を対象とした2才児クラス「プレイルーム」については
週2回コースと週1回コースでの利用としています。集団生活にも少しづつ慣れると共に他児への興味・関心を広げる機会となります。 1日2時間、「週2コース1クラス」と「週1回コース2クラス」延べ355人1回あたり11人が利用しています。
赤ちゃんサロン「コアラルーム」については、実施していません。

⑥ 園庭遊具の安全確認、砂場の消毒、水質保全検査・貯水槽清掃、火災報知設備点検修理、防犯システム点検修理、エレベーター点検整備、保育室・園庭遊具・プールの塗装替え、保育室・ホールの床ワックスがけをはじめピアノ調律、植木や花壇の手入れ、学期ごとの各所補修工事等を実施しています。

⑵ 本年度特に力を注いだ教育事業の取り組み

① 保育の充実のため重点的に取り組んだ目標・計画

項　目	取 組 状 況
10の姿をより深く学びあう	・教育理念、教育目標、教育方針を理解し、10の姿と関連付けた子どもの育ちを考えます。 ・ドキュメンテーション作成する研修を行い、写真を通して子どもの思い、育ちを読み解く。その様子を10の姿と照らし合わせています。 ・ドキュメンテーションを作成し、10の姿を表示し保護者に発信します。
遊びの環境	・季節を意識し、子どもが自ら遊びたくなる環境構成を工夫します。
異年齢・同年齢交流	・新たな生活様式での人とのつながりを考える。 ・年長組が4月5月と年少組、着替えや生活の流れを手伝いお世話をします。 ・収穫物などを他クラスに届け食育の一環として取り組みます。 ・郵便あそびなどで、他クラスの友だちや先生に手紙を書いたり、届けたり交流を深めます。 ・行事の取り組みではお互いによかったことを認め合い言葉にして伝え合います。発表する機会を多く作り自信へと繋げます。 ・普段の生活の中で、リトミックや歌を一緒に唄う等、機会を作り交流を図ります。
ICT化	◎保育者1人1台タブレットを導入。 ・システムを理解し、業務の効率化を考えます。 ・保育に活用します。 ・保護者への発信のツールとして考えます。 ・登降園の打刻、連絡、ドキュメンテーションの発信、料金管理、出欠確認、預かり保育利用登録などに用いています。

② 家庭との連携

●保護者は毎日送迎し、降園時は、園児の1日の活動・様子を伝え、保護者から 尋ねられたことについてもすぐに返答を心がけ、常にコミュニケーションを大切にしながら信頼関係を築きています。
●保育参観並びに保護者懇談会を、学期ごとに実施すると共に個人面談では園児一人ひとりの生活態度や集団生活での関わりなどを事細かく伝えています。
●毎月誕生会を行い、その月の誕生児の保護者を招き保護者共に誕生を喜びます。
●行事予定などのお知らせはホームページやアプリ、プリントで行うと共に各クラスの様子などはSNSを活用し園での様子を伝えています。（※Instagramを活用しています）
●図書コーナーで年長児に週1回、絵本の貸出しを降園時に保護者の方と一緒に行います。

③ 地域との連携

●校区の小学校と連携を保ち、1年生に就学した子どもたちの様子を意見交換を図ります。
就学前には、体験入学に参加し小学生と交流を図り、小学校の様子を知る機会としています。
●7月末には同園会を行い、1、2、3年生の子どもたちを園に招き、成長した姿近況を話しに来てくれています。

●校区中学校から職場体験として、『トライやるウィーク』に賛同し、中学生との交流を実施しています。

●年長児は6月には茨木市（おにクル）にてプラネタリウムを鑑賞し七夕の由来について学びます。

④ 教職員の研修

●子どもたちにとっての一番の環境は教諭だと考え、教諭には自分を常に磨く為にも園内での勉強会、幼稚園連盟などが行う研修会など参加しています。
●職員のレベルアップを図る目的とし、研究保育を3回／年実施しています。
保育時間も考慮したうえで、研究保育を撮影する等、のちほど振り返りが出来る様に努めています。
●いろいろな方面より講師を招き、園内研修を実施しています。
臨床心理士による『子育て支援について』 音楽講師による楽器の扱い方、奏で方（技法）について等

⑤ 施設、設備の充実

●4月　・保育室・廊下等ワックスがけ　・春休み各所補修工事
・ピアノ調律

●5月　・水質検査　・砂場の消毒　・樹木剪定

●8月　・夏休み各所補修工事　・貯水槽清掃及び点検　・保育室ワックスがけ

●9月　・砂場の消毒

●10月　・廊下、階段、遊戯室のワックスがけ　・消防用設備点検

●12月　・冬休み各所補修工事

●1月　・樹木剪定

●3月　・保育室、廊下ワックス掛けがけ

※毎月、職員にて、遊具点検・安全点検を実施しています。

⑥ 音楽指導

年少組では簡単な打楽器を使いながら、好きな歌や好きなリズムに合わせて表現や技法を学んでいます。
年中組はリズムパターンを正確に打楽器で奏でられるよう、年長組ではリズム打ちからメロディーを奏でる喜び協調性・合わせる力を養い学んでいます。専門講師による指導も継続しています。

⑦ 体育指導

基礎体力が身につけられる様に体操器具を使いながらバランス感覚も養います。
マット・跳び箱・平均台・鉄棒・縄跳び・ボールなど、発達に応じた各学年の内容の指導計画を作成しました。専門講師による指導は、各学年、年間15回から20回程度実施しています。

⑧ 英語レッスン

楽しく英語に親しめるように外国人講師の先生と一緒に歌やゲーム遊びを実施しています。
年中組、年長組ともに年6～7回実施しています。

⑨ 絵画指導

絵具の使い方や描く楽しさを知る機会としています。年少組、年中組、年長組ともに各クラス1回受けています。
絵画展にて、個人作品を2点展示しています。

⑩ 保育研究者や教育機関との連携

集団生活に不安を感じる園児に対して専門機関との連携を図り個々に対応を行います。
また、保護者と専門機関とも繋げることで家庭・幼稚園・教育機関と関係を密に図り安心して生活が過ごせる様に努めます。

⑪ 特別支援教育

個々の発達に応じて園児ひとりひとりに配慮し支援学級は編成せず、統合保育を行います。
療育機関とも連携を図り、個々の成長を促します。

⑫ 学校評価

自己点検、自己評価を実施し、保育者自らの振り返りを3学期終了後に実施します。
学校関係者評価委員会を開催し、家庭連携や保幼小連携、ICTの活用について意見交換を実施しています。

⑶ 学期等の状況　　3学期制
始業日・終業日　　一学期　４月８日　～　７月２０日
二学期　９月２日　～　１２月２０日
三学期　１月８日　～　３月２１日

⑷ 保育時間等の状況
保育時間　園　　則　　午前９：００　～　午後２：００
実　　態　　午前８：４０　～　午後２：１０
登降園時間　登園時間　　午前８：４０　～　午前９：００
降園時間　　午後２：００　～　午後２：１０

⑸ 幼稚園５日制および教職員週休２日制
① 幼稚園５日制　　実施　　月３回土曜休日
② 教職員週休２日制　　実施　　第１、第５は週休２日制(第２、第３、第４は交代)

⑹ 入学金、保育料および諸経費（保育料25,700円無償化）

	入学金	保育料／月	絵本代／月	給食費／月平均	PTA／月平均	冷暖房費／月	教育充実費	施設充実費
５才児	50,000円	27,000円	470円	5,400円	500円	1,000円	200円	無
４才児	60,000円	27,000円	470円	5,500円	500円	1,000円	200円	無
３才児	70,000円	28,700円	420円	5,200円	500円	1,000円	無	2,000円

⑺ 保育料等の減免制
① 入園一時金の減免　　減免の制度あり
② 経常的納付金の減免　　減免の制度あり
③ その他の納付金の減免　　減免の制度あり

⑻ 預かり保育の実施状況
① 通常保育期間中　　実施時間　午後２：００　～　午後５：００
② 早朝預かり保育　　実施時間　午前７：３０　～　午前８：４０
③ 延長預かり保育　　実施時間　午後５：００　～　午後６：３０
④ 春休み預かり保育　　実施時間　午前８：００　～　午後６：００
⑤ 夏休み預かり保育　　実施時間　午前８：００　～　午後６：００
⑥ 冬休み預かり保育　　実施時間　午前８：００　～　午後６：００

⑼ 給食の実施状況
① 実施方法　　給食業者に委託
② 週当り平均実施日数　　４日／週　行事によって変動あり

⑽ 課外活動の状況
① 体操教室　月４回　② 英語で遊ぼう　月１回　③ チアダンス教室　月４回　④ サッカー教室　月４回
⑤English School　月３回　⑥ロボット教室／月2回　⑥絵画造形／年間36回　⑦学研かがく37回／年間

⑾ 健康診断の実施状況
園　児　　実施　　台帳あり　・　教職員　　実施　　台帳あり

⑿ サポート(子育て支援)体制の状況
① 未就園児親子登園と園庭開放
不特定多数の未就園親子を対象にした子育て支援活動を実施
毎月1回　施設開放実施
その月に相応した、お楽しみ会等実施
② 教育相談
随時受付　電話相談実施

③ ２歳児プレイルーム
週１回／2コース　　週2回コース
身体の成長とともに知能や思考力、情緒、感性、社会性などの育みます
色々な経験を通して、他の子どもへの興味を高めます。

④子育てサロン
地域の子育てサークルのグループ活動の場として遊戯室や多目的ホール、園庭などを提供しています。

⒀ カウンセリング体制の状況
①キンダーカウンセラー
保護者の育児不安の解消、家庭教育の支援、教諭の保育指導の悩み等に
対応するため、臨床心理士によるカウンセリングを年間１０回実施しています。
②臨床心理士による障がい児勉強会
発達支援に関する、臨床心理士による勉強会を年１回実施しています。

⒁ 安全・防犯体制の状況
① 監視カメラの設置
正門内側と外側、南門、園舎北側通路、南側通路、築山裏に取付けています。
② 非常用緊急通報装置の設置
各保育室・ホール・園庭など３０箇所にワイヤレスカード式送信機を設置、
警備会社にも直通で連絡します。
③ 教職員による見回り
園の門は朝の登園後施錠します。その後１時間おきに園庭周りの巡廻実施します。（用務員）
④さすまたの設置
園舎1F及び2F廊下に不審者侵入対策としてさすまたを設置しています。
⑤正門、事務所玄関　オートロック、インターホンモニター

Ⅲ財務の概要

資金収支計算書において、学生生徒等納付金収入は、園児数196名の本年度75,195千円で前年度比10,740千円減額となりました。経常費補助金等の補助金収入は、39,053千円と前年度比の5,483千円減額になりました。
その他顕著な増減内容として、金の売却を行っており、74,835千円の金地金売却収入を計上しております。また、有価証券を売買しており有価証券売却収入6,482千円、有価証券購入支出12,230千円を計上しております。
これらを加味した結果、翌年度繰越支払資金は305,132千円と前年度比27,131千円の増額となりました。
事業活動収支計算書において、本年度教育活動収入は140,162,千円となりましたが、教育活動支出154,392千円との差額で14,230千円の支出超過となりました。一方で上記の通り、金の売却を行っており、特別収入が27,222千円となったため、最終的な当年度収支差額は6,782千円となりました。